

ギソン 2 石炭火力発電所事業

2019/3/4 現在

FoE Japan

事業の概要

ベトナム北部タインホア省ギソン地区で、発電容量 1,200MW (600MW×2 基) の超臨界圧の石炭火力発電所を建設・所有・操業し、ベトナム国営電力公社 (Vietnam Electricity : EVN) に対して 25 年間売電する計画。

建設地：ベトナム・タインホア省

発電総容量：1,200MW (600MW×2 基)、超臨界圧

事業実施者：Nghi Son 2 Power Limited Liability Company (丸紅・韓国電力公社が出資)

EPC 契約：斗山重工業 (韓国)

総事業費：27 億 9 千万米ドル

稼働開始予定：2018 年

運転開始予定：2022 年



	ギソン 1 ¹	ギソン 2
発電容量	300 MW *2	600 MW * 2
発電方法	亜臨界	超臨界圧(SC)
燃料	石炭	石炭
事業実施者	ベトナム電力公社(EVN)	Nghi Son 2 Power Limited Liability Company (丸紅、韓国電力公社)
運営	ベトナム電力公社(EVN)	Nghi Son 2 Power Limited Liability Company (丸紅、韓国電力公社)
スケジュール	2013,2014 にそれぞれ 1 号機・2 号機が商業運転開始	2018 年に建設開始
所在地	タインホア省ティンザー県	
総事業費	119,352 百万円 (うち、円借款対象額：99,687 百万円)	27 億 9 千万米ドル (協調融資分 18 億 6900 万米ドル)

¹ 国際協力機構 事前事業評価表 https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2010_VN10-P6_1_s.pdf

日本の関わり

出資：丸紅、韓国電力公社（50:50）

公的金融機関：国際協力銀行が融資（約 560 百万米ドル限度）、NEXI が付保検討中

民間金融機関：三井住友銀行、三菱 UFJ 銀行、みずほ銀行、新生銀行

注：韓国輸出入銀行（KEXIM）、OCBC 銀行（シンガポール）、DBS 銀行（シンガポール）及び Malayan Banking Berhad（マレーシア）が協調融資²

主な経緯

2005	ギソン経済区設立
2010	ギソン 1 石炭火力発電所 1 号機（300MW*2、出資 EVN、建設丸紅、JICA 円借款 ³ ）建設開始
2013.6	ギソン 1 石炭火力発電所 1 号機稼働開始
2013	丸紅と韓国電力社が国際入札でギソン 2 石炭火力案件落札
2014.6	ギソン 1 石炭火力発電所 2 号機稼働開始
2015	斗山重工業がギソン 2 建設受注
2015.6	ベトナム当局が同プロジェクトの投資ライセンス（Investment license）承認
2016.11	丸紅、同プロジェクトの BOT 方式について商工省と合意 ⁴
2017.11	丸紅と韓国電力社、ベトナム政府とコンセッション契約締結
2018.2.6	JBIC 融資検討開始
2018.4.13	JBIC 融資契約締結
2018.5.31	NEXI 付保検討開始 ⁵
2018.3	MHPS がボイラー受注 ⁶

主な問題点

社会影響（生計手段への影響）

事業予定地のハイファコミュニティでは住民が先祖代々利用してきた小型漁船の停泊地があり、現在も数百隻が利用しているが、住民に適切な説明が行われずまま、撤去が始まった。人民委員会は、2018 年 5 月 9 日付で、ギソン 2 発電所のために緊急撤去通知を发出しており、漁船を異なる停泊地へ移動するよう、また、従わない場合は強制的に移動させると説明。住民らは、停泊地に留まり、漁船が撤去されないよう監視も行っていった。この間、漁民は停泊地からの撤去を恐れ、漁に出ることができておらず、生計手段への影響が生じている。

環境影響評価の不備

ベトナム当局によって承認されている環境影響評価（EIA）は、同経済区内に建設されたニソン製油所の環境影響を考慮したものになっていない。そもそも本事業計画の EIA は、2015 年に作成され、2018 年時点でも本格的に建設が開始していなかった。製油所の稼働

² 国際協力銀行プレスリリース「ベトナム社会主義共和国ギソン 2（Nghi Son 2）石炭火力発電事業に対するプロジェクトファイナンス及びポリティカル・リスク保証」（2018 年 4 月 13 日）

<https://www.jbic.go.jp/ja/information/press/press-2018/0413-010921.html>

³ https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2006_VNXIV-1_1_s.pdf

⁴ <http://nangluongvietnam.vn/news/en/electricity/signing-the-agreement-for-investment-in-nghi-son-2-bot-thermal-power-project.html>

⁵ 日本貿易保険プロジェクト情報 18-003

<https://www.nexi.go.jp/environment/info/a/2018053001.html>

⁶ <http://www.mhps.com/jp/news/20180809.html>

開始など現地の環境に大きな変化がある以上、EIA そのものがやり直されるべきである。

大気汚染

ベトナムでは大気汚染の問題が深刻になっており、石炭火力発電所からの排出も一因とされている。石炭火力発電所由来の大気汚染が早期死亡率につながっていることも報告されており、ベトナムを含む東南アジア地域で現在計画中あるいは建設中の石炭火力発電所がすべて稼働した場合のシミュレーションによると、ベトナムは 2030 年までに ASEAN 諸国の中で汚染のひどい国の上位に位置づけられ、大気汚染による早期死亡者の数は年間 2 万人にのぼると推定されている。

地元からは既存のギソン 1 石炭火力発電所操業以来、近隣コミュニティにおける疾病の増加も報告されており、新たな石炭火力発電所の建設により、状況悪化が懸念される。